

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第289号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年11月18日 08時00分ごろ	
発生場所	千葉県富津市明治記念展望台から真方位286° 1,400m付近 (概位 北緯35° 18.8′ 東経139° 46.0′)	
事故等調査の経過	平成21年12月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船底塗料はく離、機関海水ポンプインペラ損傷	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、先行する同業船の船長が航行している水域の事情を知っていることから、同業船を追走して浦賀水道の第一海堡付近を約10ノット(kn)の速力で南進中、平成21年11月18日08時00分ごろ、同業船に続いて第一海堡の北東約100mの浅所に乗り揚げた。 本船は、すぐに離礁したが、機関海水ポンプが砂を吸引して機関始動不能となった。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風速 約3m/s、視界 良好 海象：波高 約30cm、潮汐 下げ潮の中央期、潮流 南東流（最強09時29分、約0.7kn）	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、東京湾を南進中、航行している水域の事情を知っている船長が操船している同業船を追走することに意識を集中していて、浅所に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が東京湾を南進中、航行している水域の事情を知っている船長が操船している同業船を追走することに意識を集中していたため、浅所に気付かず、同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	